

令和6年度 県民の皆様からのご意見・ご提言を取り入れた事業

受付年月	受付方法	受付件名	対応所属局	県民の皆さんから寄せられた「声」の概要	県の考え方・取組・方針 (令和6年度に公表)	その後の対応内容
令和6年 4月	電話	県熊野庁舎の階段を利用した表示（ステップ表示）について	紀南地域活性化局 地域活性化防災室	県熊野庁舎の1階から2階へ上がる階段に階段表示（ステップ表示）が貼られています。表示内容に驚いて足を踏み外しそうになりました。また、表示物の一部が剥がれておき、歩行の妨げとなっていることに加え、足を取られて階段から落ちるおそれもあるように思いました。貼る以上は表示物の管理をしっかりしてほしいです。普通に壁に貼る方が安全に思いますが、管理できないのであれば階段表示（ステップ表示）はなくしてほしいです。	この度は貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 県熊野庁舎では電気使用量抑制の取り組みの1つとして、以前から3階まではエレベーターを使用せず階段を利用するよう呼び掛けていましたが、階段利用をもっと促進できないかということで、健康増進を兼ねた取り組みとして、階段を利用した場合のカロリー消費量をわかりやすく表示するようにしました。 表示については、具体的な食べ物や消費カロリーがわかり、楽しく階段を登れる、など来庁者から好評をいただいております。 表示物が剥がれかかっていたということにつきましては、接着部分を増やすなど、剥がれて歩行の支障となることがないように対応いたしました。今後も適正に管理いたしますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	
令和6年 7月	電子メール	県庁北車両通入口について	総務部 管財課	県庁北車両通入口を通行する車両の一時停止がほとんど見られず、非常に危険と感じています。 車両同士で衝突しかけたこともありますし、自転車に乗っている時にぶつかられそうになったこともあります。 一時停止の文字は路面に書かれています。残念ながらほとんど守られていないと感じます。注意喚起のみでは対策になっていないのが現状だと思います。 重大事故が起こる前に、視界が悪い夜間には閉門し、業務時間内に閉門することや、登下校時には閉門または警備員を配置するなどの具体的な対策をお願いします。	このたびは、車両通入口を通行する車両によりご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。 ご意見を受け、県庁北通入口を通行する際の安全を確保するため下記の改修を行います。 ・カーブミラーを大きなサイズのものに取り換えました。 ・フェンスを一部撤去し、見通しをよくしました。 ・減速帯を設置します。（10月頃施工予定） ・停止線及び止まれ線の文字を塗装しなおし、見えやすくします。（10月頃施工予定） なお、夜間（21時から7時30分まで）と休日は警備上の理由から正面側の道路を閉鎖しているため、車両は北通入口から出入りする必要がありますが、上記の対策を行うとともに職員には注意喚起を行いますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	県庁北通入口を通行する際の安全を確保するため、令和6年9月に、停止線及び止まれ線の文字の再塗装を行いました。また、10月に減速帯の設置を行いました。
令和6年 8月	電子メール	交通施策について	地域連携・交通政策課	今秋に、現在は乗り換えが必要な奈良名古屋間について、直通列車の実証運行をすると以前ニュースリリースがあったようですが、概要の発表はまだでしょうか。 試乗したいので早めに概要の発表をしていただきたいです。 奈良名古屋間で乗り換えがなくなれば非常にスムーズになり、三重県の利用者としても使い勝手のよさを感じられるようになると思うので実現に向けてよろしくをお願いします。	日頃は、県の交通行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。 大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行の実施にあたっては、JR西日本管内とJR東海管内をまたぐ運行となることから、まずは、鉄道事業者において使用車両の確保や安全管理等の技術的な課題への対応策について検討が進められています。 なお、運行の時期や頻度、停車駅等については現在調整中であり、安全面や技術面と同時並行で鋭意検討を行っているところです。調整の結果、実証運行が決定しましたら、概要の公表について準備を進めます。 引き続き、関西本線の活性化に向けて、国や沿線市、交通事業者等との連携を図りながら、実証事業の取組を進めるとともに、結果についてしっかりと検証し、今後の展開につなげてまいります。	ご意見をいただいております。大都市と沿線地域を乗り換えなしで結ぶ列車の実証運行については、令和6年9月30日に開催しました「関西本線活性化利用促進三重県会議」において概要を発表いたしました。 1 運転日 令和7年2月16日（日）、22日（土） ※両日1往復運行 2 運転区間 名古屋駅～伊賀上野駅間 なお運行区間については、安全管理等の技術的な課題を踏まえ、令和6年9月30日に開催しました「関西本線活性化利用促進三重県会議」での議論などを踏まえ、限られた日数の中で最大限の効果を得る方策を検討した結果、「名古屋駅～伊賀上野駅」の運行となりました。実証運行の結果、沿線地域外からの観光需要の取り込みの可能性を検証するとともに、関西本線そのものや沿線地域の知名度向上につながりました。 これらの結果を踏まえて、引き続き、関西本線の活性化に向け、国や沿線市、交通事業者などと連携しながら、取組を進めてまいります。 (参考URL：関西本線活性化利用促進三重県会議) https://www.pref.mie.lg.jp/KOTSU/HP/m0009200213.htm
令和6年 8月	電子メール	狩猟免許更新講習会の動画について	農林水産部 獣害対策課	狩猟免許更新のための講習に参加しました。猟友会の方が講師として話されている動画を皆で視聴することとなりましたが、ノイズだらけで、音質も悪く、聞きづらいのもにより、耳障りがし、最低のものでした。録画時のマイクの質が悪いものと推測しますが、あまりにひどいので改善していただきたいです。狩猟は危険がつきものであるため、講習はしっかりしていただきたいです。	このたびは、ご意見をいただきありがとうございます。 令和6年度の狩猟免許更新講習会においては、新型コロナウイルス感染症が再流行した場合の対応策および受講者のみなさまの更新機会の増加を目的としてビデオ視聴による講習を実施いたしました。しかしながら、初めての試みで関係者が不慣れなこともあり受講者のみなさまにご不便を強いる結果となり申し訳ございません。 今後はいただいたご意見を踏まえて録画方法の改善や録画以外の講習方法の検討など、より良い講習会の実施に努めてまいりますので、今後とも三重県の狩猟行政にご協力いただきますようお願いいたします。	いただいたご意見を踏まえ検討した結果、令和7年度は、全ての講習会を対面で実施することといたしました。 次年度以降の講習会の実施にあたり、再度録画視聴による講習会を実施する場合には、講習会の様子を録画する方法ではなく、講師に個別にビデオの前で話していただいたものを録画するなど、録画方法の改善に努めます。